

新潟地震を次代につなぐ

1964年6月16日午後1時1分、粟島付近を震源とするマグニチュード7.5の地震が発生しました。

新潟市では全市一斉訓練が行われますが、本日6月16日、小須戸中学校でも地震とその後の大津波警報を想定した避難訓練を実施しました。

私たちが住む新潟市もいつ何時、大災害に見舞われるかわかりません。いざというときの心の備えを十二分にしておくことが、自分の命だけでなく、他者の命を守ることに繋がります。

生徒はみな真剣な面持ちで訓練に参加していました。

【大地震発生！シェイクアウト訓練】



【大津波に備え、上階に避難】



地域を守るひとりとして

当校と隣接している小須戸幼稚園でも避難訓練が行われました。幼稚園の指定避難所は当校普通教室棟4階となります。

担当生徒は、避難する園児たちに寄り添い、優しい言葉がけを終始行いながら、避難場所である4階多目的室まで誘導していました。園児たちも安心した表情で真剣に訓練に参加していたと思います。

中学生には「地域のひとり」として、社会的弱者を率先して手助けする役割が求められています。今日の経験がいざというときに力となって発揮されることを願ってやみません。

【小須戸幼稚園避難訓練の様子】

